

取水施設台帳作成業務委託 仕様書及び標準歩掛

令和3年12月

香川県土木部 河川砂防課

取水施設台帳作成業務委託 仕様書及び標準歩掛

1. 適用範囲

本歩掛・仕様書は、香川県が発注する取水施設（可動・固定とも）の施設台帳作成業務委託に適用する。

2. 業務目的

本業務は、香川県が管理する二級河川において、取水施設（可動・固定とも）の管理状況を把握することを目的として、河川台帳及び現地状況を調査し、施設台帳の整理を行うものである。

3. 業務項目

- (1) 打合せ協議
- (2) 資料収集整理及び計画準備
- (3) 現地調査及び施設計測
- (4) 施設台帳作成
- (5) 報告書作成

4. 業務内容

4.1 打合せ協議

本業務に関する打合せ協議については以下の時点で実施するものとするが、その他必要に応じ調査職員の指示に従い、その都度実施する。

- ①業務着手時 1回
- ②業務報告時 1回

4.2 資料収集整理及び計画準備

本業務を実施するために必要な資料を収集整理するとともに、業務の計画を立案する。香川県が管理する二級河川を対象として河川台帳及び構造物集計表を収集整理する。

4.3 現地調査

香川県が管理する二級河川を対象とし、発注者（県）が指定する区間（山間部等で河川沿いに管理用道路がない区間を含む）において、河川台帳平面図に記載のある取水施設（可動・固定とも）の現地調査を行い、写真を撮影する。写真撮影にあたっては、施設規模を把握できるようスタッフ等で高さが確認できる写真及び施設の状況を撮影するものとする。

併せて現在の施設状況を目視により確認し、別添施設台帳に記載のチェックポイントに従い、管理状況等を記録する。また、河川台帳平面図と現地との整合を確認し、河川台帳平面図に記載の無い施設についても同様に調査する。

4.4 施設台帳作成

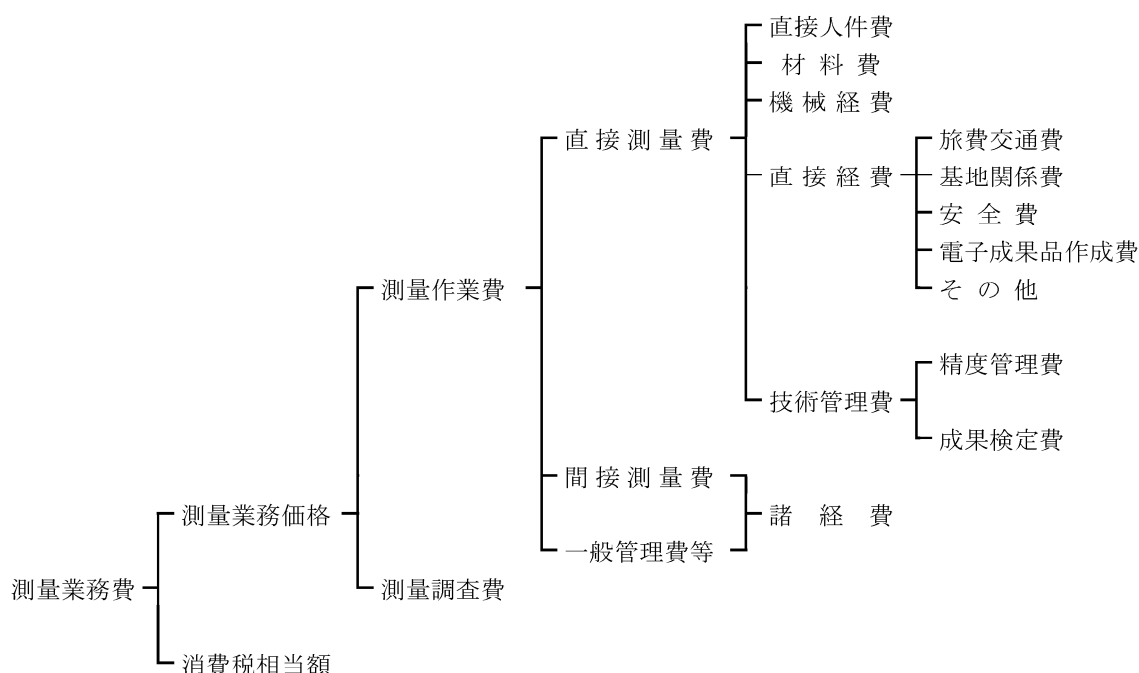
現地調査結果を基に別添の施設台帳に整理、反映する。なお、記入箇所は、別紙1の施設台帳の赤枠箇所を基本とする。

4.5 報告書作成

業務の目的、経緯を踏まえて取りまとめを行い、報告書を作成する。

5. 構成

5.1 業務の体系



5.2 直接人件費

	項目	構成					備考
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
(1)	打合せ協議						
(1-1)	業務着手時	0.5	0.5				1業務あたり
(1-2)	業務報告時	0.5	0.5				1業務あたり
(2)	資料収集整理及び計画準備		0.5	1.0	1.5		1業務あたり
(3)	現地調査			2.0	2.0		10箇所あたり
(4)	施設台帳作成			1.0	1.0		10箇所あたり
(5)	報告書作成	0.5	1.0	0.5			1業務あたり

5.3 直接経費

5.3.1 旅費交通費

設計及び測量・調査業務等積算資料 第1編総則 第2章積算基準（参考資料） 第1節積算基準 1-3 旅費交通費 に準ずる。

5.3.2 電子成果品作成費

設計業務等標準積算基準書 第1編測量業務 第1章測量業務積算基準 第1節測量業務積算基準 1-7 電子成果品作成費 に準ずる。

施設台帳（堰）

台帳作成・更新 年月日

番号		X座標		Y座標	
水系名	●●水系	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ※1 提供する台帳から読み取る 記入例)左岸4.8km+100m </div>			
河川名	●●川				
種別	堰				
施設名称					
位置	●●市●●町				
距離標との位置	※1				
目的	取水				
設置者					
工事名					
事業種別					
型式寸法	型式	※2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ※2 記入例)ゴム引布製起伏堰 鋼製起伏堰 コンクリート製固定堰 土盛 その他(●●) </div>		
	ゲート数	●門			
	※寸法1 (m) 純径間×有効高				
	※寸法2 (m) 純径間×有効高				
	※寸法3 (m) 純径間×有効高				
	※寸法4 (m) 純径間×有効高				
	※寸法5 (m) 純径間×有効高				
	敷高(TP.m) (竣工図書より)				
	※敷高(TP.m) (参考値)				
	動力				
	動力源				
	駆動方式				
	操作方式				
	製作者				
	竣工年月日				
管理委託先		位置図 ※3		平面図 ※4	
TEL					
管理委託年月日					
事実上の管理者(名)					
上記者への委託年月日					
		正面写真 ※5		背面写真 ※5	
		状況写真 ※6		状況写真 ※6	

※3 縮尺1/2500程度の位置図を添付する
 ※4 発注者(県)から提供する台帳の平面図を添付する
 ※5 スタッフ等で高さが確認できる写真を撮影する(高さが確認できる写真を撮影できない場合は既存の資料(図面)等を確認し、高さを記載する)
 ※6 施設の損傷(管理)状況、施設前後の護岸・河床等の状況、土砂・草木の堆積及び取水口の状況等の写真を撮影する。

施設(堰)の点検及び維持修繕の履歴

番 号	
施設名称	

施設の管理状況等

記入例)・固定堰が破損(又は下部が洗堀)し、取水堰として機能を果たしていない。
 ・補修を行っている形跡がなく、堰に樹木・ゴミ等が溜まっており、管理されていない。
 ・固定堰下流において、河床洗堀が生じており、護岸が被災する恐れがある。
 ※取水口の閉塞状況、植生、左右岸の護岸の状況、周囲の陥没、堰本体の洗堀や破損状況、
 下流の異常洗堀、護床ブロックの有無とその変形や流出の状況等を記載

点検結果・維持修繕の記録

実施年月日	作業名	事業種別	実施者	実施内容	実施結果	今後の予定	備考

【チェックポイント】
 現在の施設状況を簡単に点検・調査し、管理状況等を分かる範囲で記入する。
 下記の3点を主なチェックポイントとし、わからない部分は「不明」と記載する。

- ①施設状況を把握 (施設として正常に機能している状態か。)
- ②管理状況を把握 (施設の周囲の草刈りや取水口付近の土砂撤去等を行っている形跡があるか。)
- ③河川護岸等への影響の有無 (施設が原因で河川護岸等に悪影響を与えていないか。)
 (堰下流の河床洗堀による護岸等の被災・堰が河川断面を著しく阻害していないか)